



サロン活動を通じて 地域の高齢者に活力を！

サロン新御堂寺のふれあいタイム

高齢化の進展という大きな課題と向き合いながら、地域に密着した様々な事業を展開している、木更津市の岩根東地区社会福祉協議会（以下、岩根東地区社協）。中でも千葉県主催の高齢者孤独化防止活動「ちばSSKプロジェクト」の、「高齢者地域支え合い活動団体表彰」で奨励賞を受賞したサロン活動は、他の地区社協からも注目を集めています。

地域が抱える高齢化問題に 真摯に向き合う

JR 内房線・巖根駅の東側に位置し、約9,000 人が暮らす岩根東地区。東京湾アクアラインによる公共交通の利便性、相次ぐ大型商業施設の進出、都心より安価な地価などの理由により、この数年、人口が増え続けている木更津市。しかし、その中にあってこの地区でも高齢化や若者の流出などに悩まされています。岩根東地区社協はこのような状況の中でも様々な事業を展開し、住民の笑顔と活力を願って奮闘しています。

月4回開催されるサロン活動

高齢者を対象としたサロン活動に、



岩根東地区社協会長の中澤喜一郎さん（左）と
サロン活動代表世話人の川口正彦さん

公民館の文化祭に合わせて開催する敬老会。さらに、歳末に実施する生活困窮者に対する支援活動に加え、赤十字や赤い羽根の募金活動など、地域に根ざした活動を展開している岩根東地区社協。

特筆すべきは、平成21 年からスタートしたサロン活動です。当初は1ヶ所月1回の開催でしたが、現在では4カ所の会場で開催されています。

サロン活動を行っている地区社協は県内にも多数あるものの、これだけ多く開催している地区社協は、全国的に見てもあまり例がないと思われます。

寺院からスタートした サロン活動

「最初は会場探しに苦労しました」と、当時を振り返るサロン活動世話役の川口正彦さん。サロン活動を始めると決めたものの、なかなか適当な場所が見つからなかったと言います。そんな時、快く場所を提供してくれたのが、本郷にある新御堂寺の藤平貞順住職でした。「お寺が地域のために貢献するのは当然のこと」という藤平住職のご好意で、平成21 年3月、木更津市で最初のサロンとなる「サロン新御堂寺（にいみどうじ）」がスタートしました。



岩根東地区文化祭

藤平住職は現在も、落語家を招いたり、枇杷の演奏会を開催するなど、熱心にサロン活動をサポートしてくれているそうです。

誰もが気軽に集える場と するために

「サロン新御堂寺」は順調に続いているものの、岩根東地区社協会長の中澤喜一郎さんや、川口さんはある思いを抱いていました。それは「もっと身近な場所で気軽に集えなければ、サロンの意味がないのではないか？」。

高齢者の孤立化防止が主目的のサロン活動。しかし、岩根東地区社協の担当エリアはそれほど広くないとはいえ、「サロン新御堂寺」に通う顔ぶれは近隣に住んでいるか、移動に不自由しない高齢者の皆さんが中心。

そこで、1人でも多くの高齢者にサ



ゴルフゲーム

ロンに足を運んでもらえるよう、サロンの数を増やすことを決めました。「サロン新御堂寺」で培ったノウハウを活かし、ボランティア活動のできる人材を育てるなどの努力を重ね、平成23年には「サロン住吉集会所」と「サロン岩根公民館」の2会場を開設。さらに、平成27 年には「サロン西山公会堂」を開設しました。

身近な場所にサロンの会場ができ、より通いやすくなったことにより、各サロンには常に20～30 名が参加。しかも、どの会場にも毎回1～2 名、新規の参加者がいるとのこと。



救急訓練

自分たちの努力と周囲の 協力が継続のカギ

「運営スタッフが異なるため、以前は会場ごとに活動内容が違っていましたが、現在は標準化を試みています」と川口さん。そうすることで月4回のサロン活動の円滑な運営に、人手も内容も十分に対応できると考えています。

サロンでの主な活動内容は、口の筋力アップを助ける「バタカラ体操」や介護予防にも役立つ「きさボン体操」といった日常生活での健康意識を高めるための体操や、簡単なレクゲーム、お茶を飲みながらおしゃべりをする「お茶べりタイム」、皆で歌うなどなど。他にも、地域包括支援センター職員による健康講話、地元警察による防犯や悪質商法等に関する講話など、地域に密着した組織や団体からの協力も得て、内容の充実を図っています。サロン運営において心がけているのは、“主催者も参加者も共通体験を通じて互いがつながる”ことなのだそうです。

チャレンジ精神で さらに先へ

今後については、「サロン活動を継続していくための人材育成が課題。可能であれば、各町内のボランティアだけでサロンを運営できるといいですね」と川口さん。「地区社協としては、自主防災組織の立ち上げを含め、地域の防災力向上についても支援できたらと考えています。まずは救急救命研修や防



サロン住吉集会所 クリスマスゲーム会

災教育などを行い、そこから皆で考えて、動いて行くきっかけになればよいと思います」と中澤会長。

さらに、2020 年～25 年の間には高齢化率が40 %前後になると予想される岩根東地区では、高齢者だけに目を向けても、認知症予防、見守り、孤立化防止等、乗り越えねばならない様々な課題があるとの認識を、お二人は示してくれました。この地区に暮らす人々に対し、岩根東地区社協の果たすべき役割はますます大きくなります。しかし、サロン活動で見てくれたチャレンジ精神で、大きな壁も必ず乗り越えてくれるでしょう。



きさボン体操

木更津市社会福祉協議会 TEL 0438-25-2089

“熱意”が成功のカギを握る 成年後見支援事業

現在、高齢化率が約25%という木更津市で、木更津市社会福祉協議会（以下、木更津市社協）が最も力を注いでいるのが、「成年後見制度」に関する事業です。

木更津市社協では平成25年から「日常生活自立支援事業」に取り組み、判断能力に不安がある高齢者などのサポートを行っています。しかし、その中には本人に代わって財産の管理、介護サービスや施設への入所、そして遺産の協議なども行える「成年後見制度」でなければ対応できない事案もあり、木更津市における同制度の必要性を強く感じていました。

そうした状況を踏まえ、平成26年度に「きさらづ成年後見支援センター」を設置し、成年後見制度に関する事業を開始しました。法人後見では昨年6件を受任。

そのうちの3件は「日常生活自立支援事業」から移行した事案です。

これから高齢化と、それに伴い増大・多様化する後見ニーズに対して、後見の引き受け手のない人の権利を擁護するためにも、市民や法人がその受け皿となることが求められています。

このような中、平成27年10月に「市民後見人養成講座」を開講。現在受講生25名が約3ヵ月間の養成プログラムを受講中であり、その後の育成プログラムを経て、信頼のおける市民後見人の育成を目指しています。

これらの取り組みにより、老人福祉法等が規定する後見市長申立てを円滑に機能させ、誰もが安心して生活できるとい



木更津市社協のみなさん
（左から加藤さん、高木さん、西本さん、上野さん、平野さん）

う認識ある社会を目指す一助になればという想いがそこにはあります。

「この事業を成功させるカギとなるのは、関わる人々の“熱意”と“考え方”です」と、同センターの主査を務める高木淳佳さん。

財源や制度の整備など多くの課題はあるものの、木更津市社協の“熱意”で、この事業は今後大きく進展することでしょう。